

関係各位

新型コロナウイルス感染症院内クラスターの終息宣言にあたって

この度の奄美中央病院での新型コロナウイルス感染症の院内感染では、患者様やご家族様、地域組合員の皆様方、ならびに、ご支援いただいた行政機関や医療機関など多くの方々に多大なるご迷惑、ご心配をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

今回の院内クラスターでは、8月27日に最初の陽性者が確認されて以降、職員と患者様あわせて77名の陽性者が院内で確認されました。

陽性者発生以降、院内対策本部を立ち上げ、名瀬保健所や鹿児島県新型コロナウイルス感染症調整本部感染症チーム、県立大島病院、民医連をはじめ多くの関係機関からのご指導やご支援を頂きながら、陽性患者様の治療を行いつつ、感染リスクの可能性のある患者様や職員へのPCR検査の実施やゾーニング等の感染拡大防止と終息に向けた対策をすすめてまいりました。

様々な対策に取り組んだ結果、9月9日に最後の陽性者が確認されて以降、新たな陽性者の発生は抑制されています。

こうした状況を受け、鹿児島県や関係機関の判断のもと、新型コロナウイルス感染症の院内クラスターの終息を宣言し、事業活動の再開をご報告させていただきます。

ご指導ご協力いただきました医療機関や関係行政機関の皆さま、当院への励ましのお言葉やご支援を賜りました皆さまに、この場をお借りしてあらためて心より御礼申し上げます。

今後は、事業所をあげてさらなる感染予防の徹底に取り組み、患者様や利用者様、地域組合員の皆様に安心・安全な医療と介護を提供し利用して頂けるよう、一層の努力を図ってまいります。

引き続き皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2021年10月12日  
奄美医療生活協同組合  
理事長 杉原 雄治  
奄美中央病院  
院長 福崎 雅彦